

平成 21 年度 JSCA 広報活動について

耐震強度偽装事件で高まった構造設計者への世間の関心も時とともにうすれつつあるとは言え、その後も耐火被覆試験法偽装や配筋ミスなどの不祥事も報道されており、建築の品質全般に対する国民の根強い不安は相変わらず残されている状態と言えます。一方、国家資格である構造設計一級建築士制度が 5 月末よりスタートし、JSCA の役割も変わっていかうとしています。

このような状況下で、経験豊かで、高い使命感・倫理観を共有する構造設計者の集まりである建築構造技術者協会（JSCA）の重要性は益々高まっています。

広報委員会では「職能に対する社会の理解を深める」ことをねらいとし、JSCA の現在までの活動実績および今後の活動計画を社会にアピールする活動に取り組んでいます。

ここでは、すでに実施されている、あるいは、近いうちに実施される予定の社会へのアピール活動をご紹介します。

- ・ 一般向け「構造、あんしん。」ホームページの開設 ⇒<http://www.kouzou-anshin.jp/>
- ・ 週刊誌（週刊文春、週刊新潮）への広告連続掲載 ⇒7 月 2 日号から両誌併せて計 14 回
- ・ 週刊東洋経済への会長インタビュー記事掲載 ⇒8 月 15・22 日号に掲載予定
- ・ 日刊ビジネス誌（フジサンケイビジネスアイ）の会長インタビュー記事掲載⇒7 月下旬？
- ・ パンフレット改訂 ⇒7 月 22 日新パンフレット発行
- ・ ‘鉄鋼技術展’（7/22～25；ビッグサイト）でのブース出展、講演
- ・ 20 周年記念大会での一般市民向けセミナー開催⇒9 月 12 日 PM1:00～3:00(建築会館)
- ・ シンボルマークシール使用による会員自らのアピール活動⇒ ‘STRUCTURE’7 月号同封

構造設計に関わる技術者の唯一の職能団体である JSCA の社会的認知度向上・発展および構造設計者の社会的地位向上のためには、会員の皆様全員による力を併せた継続的な活動が必要です。

上記の種々の活動を参照され、施主や周囲の方々などへの教宣にも会員一人ひとりが尽力されるようお願いいたします。

なお、広報委員会の今後の活動の一つとして、JSCA ホームページの改訂に取り組んでいきますので、事務局までメールにてご意見をお寄せください。

広報委員会委員長
堀 富博